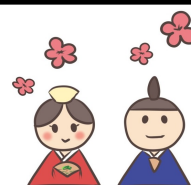




おすすめ児童書3月



啓林堂書店 外商部

担当 森川・蔵田・八部・表野

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <https://www.books-keirindo.co.jp>

▽ 幼稚園・保育園以上



おひなさまのいえ 新装版

作 ねぎしれいこ
絵 吉田朋子

¥1,430

お店に売れ残ってしまったおひなさまたち。飾ってくれる家を探しに、さあ出発です。五月人形や流しびなに出会いながら自分たちの家を探します。おひなさまたちは押絵風に描かれています。巻末にはひなまつりの行事食を紹介。ひしもちの桃色は魔よけの意味があるんだそうです。

ISBN 978-4-418-23804-0

世界文化社 : 2023年 発売



ぼくはふね

作 五味太郎

¥1,980

ふねがぷかぷか浮かんでいます。どこから来たの？どこへ行くの？大きい船に「じゃま！」と言われたり。嵐が来てひっくり返りそうになったり。山や畑の中も進めちゃったり。いろんなことがあっても、ぼくはふね。なぜか何度も読み返したくなる絵本です。カラフルでかわいらしいキャラクターもたくさん出てきます。

ISBN 978-4-8340-8773-4

福音館書店 : 2024年 発売

▽ 小学生以上



はるがきた

文 ジーン・ジオン
絵 マーガレット・ブロイ・グレアム
訳 こみやゆう

¥1,540

春が待ちきれない町の人たちは、明るい青や黄色のペンキで、タンポポやヒナギク、ツグミなどを町中に描きました。町はすっかり春です。みんなとても満足そうです。その晩大雨が降って、せっかく描いた絵が流されてしまいます。でもその雨で季節が進み、本当の春がやってきます。暖かい、色とりどりの春が早く来ないかなあと思う一冊です。

ISBN 978-4-07-451079-5

主婦の友社 : 2022年 発売



つくし

作 甲斐信枝

¥1,100

春になるとよきよき出てくるつくしのことがわかる科学絵本です。つくしの根っこはどうなっているんだろう。とりだして調べます。枯れたあと次の春また伸びてくるまで、つくしの一年間を観察した様子をやさしい絵で描きます。

ISBN 978-4-8340-1416-7

福音館書店 : 1997年 発売